

豊友会会員の皆さま

## 新型コロナ禍での活動報告

新しい年を迎えました。各位におかれては例年とは違った形で越年された方が多かったのではないかと推察いたします。昨年1月半ば新型コロナウイルスの国内初感染者確認の報道があり、この話題が日常化して翻弄され続け、年末には2カ国で確認された変異株が国内に持ち込まれました。年が明けても全国での感染者数が減らず、政府は近々、首都圏1都3県に緊急事態宣言を発出する予定であり、収束時期が全く見通せないことはご高承の通りです。

本会においてはECL危機対策本部通達を参考に、2月から随時本部理事会（7支部長、東京支部役員、本庄支部3役で構成）メンバーに注意喚起の情報を提供し、5月には上期予定の各支部総会の中止と同好会の自粛、下期についてもその後の感染状況を勘案して全支部で行事の開催を取り止めました。4月には活動の要である事務局スタッフのテレワークを開始し現在も継続中です。

この状況下で本会の活動は、1月～3月の第4四半期、4月～6月の来年度第1四半期の6カ月間は同様の対応を取らざるを得ないと判断し、本部理事会メンバーに活動再開は第2四半期（7月～9月）もしくは下期からの実施も視野に入れ、安全・安心を大前提に各地域での感染状況を分析して活動計画を立案されるようお願いしました。会員の皆さま方にはこれから半年近く、各支部での活動スケジュール等のご案内はできませんが、何卒事情ご賢察くださりご理解とご了承を賜りますようお願いいたします。

英国のエリザベス女王は恒例のクリスマスメッセージで「暗い夜にも、新しい夜明けが訪れる希望がある」と国民を勇気づけられました。わが国でもワクチン接種が始まる予定で、それが夜明けの希望になると期待したいと思います。

本会の会員は高齢者であり基礎疾患を持つ人が多い高リスク集団で、まだまだ厳戒態勢を続けなければなりません。会員各位におかれては油断されることなく「手洗いの励行、マスクの着用、3密の回避」の基本的な感染予防策で、お一人おひとりが「うつさない。うつらない。」を肝に銘じて行動されますよう、そして再開後の活動に倍旧のご協力、ご支援をお願いし、新年にあたってのご報告とさせていただきます。

2021年（令和3年）正月

エーザイ豊友会

理事長 岡林 功 